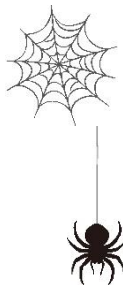


九中図書館だより

文京区立第九中学校図書館

令和4年10月 第6号

学校図書館支援員 蛭田康寿子



10月と言えば、思い出されるものは…ハロウィン！皆さん、ハロウィンとは、そもそもどんなものなのか知っていますか？

元々は、古代ケルト人の収穫祭であり、この日は彼らの大晦日でした。収穫が済み、冬を迎えることを死と結び付け、夜には死者や悪霊が訪れ、いたづらをすると考えられていました。そこで、悪魔や化け物の格好をして、霊たちを恐がらせ、寄せ付けないようにしたのです。かぼちゃの提灯は、日本のお盆の迎え火のようなもので、魔除けのアイテムです。彼らはこれに火をつけ、家の前に置いていたそうです。



九中図書館 利用案内

開館日 月曜日 ~ 金曜日
開館時間 昼休み 13:00~13:20
放課後 学活終了後~16:30
貸出冊数 2冊まで 貸出期間 2週間まで

支援員在室曜日は

月・火・木・金

在室時間は

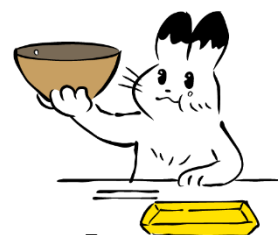
11:30~16:30

※行事や授業によって

変更になることがあります



図書館からのオススメ本



『にっぽんのおにぎり』【38ハ】

白央篤司著 理論社

鮭やおかか、つくだ煮やお漬物…47都道府県のそれぞれの地方で愛されているおにぎり、その土地の食べ物でアレンジしたおにぎりを、でっかい写真でおいしさそのまま紹介されています。

土地の歴史や風土も伝えてくれる、おにぎり風土記絵本です。

あなたが一番好きなおにぎりは、どれですか？



新刊 入りました

秋も深まり、「読書の秋」にふさわしい陽気になってきました。

「読書の秋」の由来は、秋の夜長を有意義に過ごそうと、古代中国で「灯火親しむべし」という言葉が広まったからだという説があります。これは中国の詩人・韓愈(かんゆ)の、学問をすることの大切さを詠んだ詩の一節です。当時18歳だった息子に、読書の大切さを教えるために詠んだものとされています。

「読書の秋」に合わせ、九中図書館でも新刊がたくさん入りました。皆さんも、ぜひ図書館に立ち寄って、秋の夜長を楽しむ本を探しに来てください。

📖 新着図書の一部です 📖

- 『にゃんこ四字熟語辞典』 西川清史著 飛鳥新社 【814 ニ】
- 『13歳からの3000円生活』 横山光昭著 アスコム 【33 ヨ】
- 『古典の裏』 松村瞳著 笠間書院 【913 カ】
- 『ソノリティ はじまりのうた』 佐藤いつ子著 KADOKAWA 【913 サ】
- 『文豪ストレイドッグス storm bringer』 朝霧カフカ著 KADOKAWA 【913 ア】
- 『僕たちの部活動改革』 神谷拓著 かもがわ出版 【37 カ】
- 『くるまの娘』 宇佐見りん著 河出書房新社 【913 ウ】
- 『副音声』 大林利江子編 【913 オ】
- 『13歳のきみと、戦国時代の「戦」の話をしよう。』 房野史典著 幻冬舎 【21 ホ】
- 『とんこつQ&A』 今村夏子著 講談社 【913 イ】
- 『一千ギガ物語』 藤井青銅著 猿江商會 【913 フ】
- 『ダリウスは今日も生きづらい』 アディーブ・コラム著 集英社 【93 コ】
- 『6カ国転校生ナージャの発見』 キリーロバ・ナージャ著 集英社インターナショナル 【37 キ】
- 『怪談小説という名の小説怪談』 澤村伊智著 新潮社 【913 サ】
- 『うさぎのほんね』 中山ますみ著 東京書店 【64 ウ】
- 『夜に星を放つ』 窪美澄著 文藝春秋 【913 ク】
- 『その本は』 ヨシタケシンスケ・又吉直樹著 ポプラ社 【913 コ】
- 『ゴリラからの警告』 山極寿一著 毎日新聞出版 【914 ヤ】

・・・他、多数あります！

